

県内の患者数

インフルエンザ	↓1041	1054	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↓ 28	35	ヘルパンギーナ	→ 1	1
咽頭結膜熱	↓ 18	21	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↓ 5	8
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	↑ 112	89	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↑ 840	814	流行性角結膜炎 (はやり目)	→ 15	15
水痘	↑ 109	107	細菌性髄膜炎	↑ 1	0
手足口病	↑ 12	10	無菌性髄膜炎	↓ 0	1
伝染性紅斑 (りんご病)	↑ 7	2	マイコプラズマ肺炎	↓ 1	2
突発性発しん	→ 29	29	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い感染症

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- インフルエンザは、報告数1041件(前週報告数 1054件)とわずかに減少。地区別では、宇城、八代、天草に多く報告がみられます。年齢別では、10～14歳の204件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 感染性胃腸炎は、報告数 840件(前週報告数 814件)と増加。地区別では、山鹿、菊池、有明に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の146件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、報告数112件(前週報告数89件)と増加。地区別では、天草、菊池、宇城に多く報告がみられます。年齢別では 6歳の19件を最多に主に10～14歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	285	8	6	26	183	34	2	2	4			2		15			1	
山鹿保健所	36				73				5				*	*				
菊池保健所	120	3	9	23	182	6	3	4	3									
阿蘇保健所	35			1	10								*	*				
御船保健所	11				10								*	*				
八代保健所	123	3		8	68	16	3		4		1							
水俣保健所	14			1	11	17						1	*	*				
人吉保健所	71	4		1	51	14			2				*	*	1			
有明保健所	61	7	1	2	135	10	4	1	3									
宇城保健所	173	2	1	15	60	4			4				*	*				
天草保健所	112	1	1	35	57	8			4			2						
計	1041	28	18	112	840	109	12	7	29	0	1	5	0	15	1	0	1	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳 以上
インフルエンザ	1041	3	16	39	56	48	65	65	94	54	52	53	204	40	36	62	57	36	17	19	25
小児科定点年齢	合計	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上						
RSウイルス感染症	28	2	15	7	3	1															
咽頭結膜熱	18		3	6	1	1	2	1	1	1			1		1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	112			4	7	12	17	13	19	14	10	9	6		1						
感染性胃腸炎	840	10	44	146	81	68	65	59	48	44	39	35	111	24	66						
水痘	109		15	24	23	18	11	9	2	2	2	1	1	1							
手足口病	12		3	6	1	1	2														
伝染性紅斑	7	1	2	2	1	1															
突発性発しん	29	1	12	14	1	1		1													
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	1			1																	
流行性耳下腺炎	5			1	1					2			1								
眼科定点年齢区分	合計	0～5 カ月	6～11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	15			1	1									2	3	5		2			1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	1																1				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	1		1																		
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- インフルエンザ : 山鹿、菊池、宇城、天草
- 感染性胃腸炎 : 有明、山鹿、菊池、人吉
- 咽頭結膜熱 : 菊池
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : 菊池

インフルエンザは横ばい
感染性胃腸炎は増加!



【インフルエンザ、感染性胃腸炎、引き続き警戒が必要】

今週のインフルエンザの報告数はわずかに減少しましたが、第7週以降患者数は横ばいで、例年に比べ減少が鈍くなっています。また、宇城、天草地域は前週より患者数が増えました。山鹿、菊池、宇城、天草地域の警報レベルも継続中です。今後も引き続き感染予防と拡大防止に努めてください。

◆インフルエンザを予防するために

- ① 手洗い・うがいを習慣づける
- ② 流行時には人混みを避ける
- ③ 栄養、休養、睡眠を十分に取る
- ④ 部屋の換気と保湿に心がける

◆インフルエンザにかかったら

- ① 早めに医療機関を受診し治療を受ける
- ② 学校や職場へは無理して行かない
- ③ 水分を十分に補給する
- ④ 咳エチケットを心がけ、外出を控える

今週の感染性胃腸炎の報告数は、1041件とわずかに減少しましたが、患者数は横ばいです。また、宇城、天草地域は前週より患者数が増えました。山鹿、菊池、宇城、天草地域の警報レベルも継続中です。県内の高齢者施設でもノロウイルスの集団感染がありました。患者の便や嘔吐物の適正な処理、食事前やトイレの後の手洗いなど、感染予防対策を徹底しましょう。